

主に一般の方向けの講座を「市民公開講座」、主に専門職者向けの講座を「公開セミナー」として開催しています。詳細は大学ホームページに順次掲載します。インターネットから、またはFAXでお申し込みください。多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

**【市民公開講座】**

**認知症に関する講座** 〈定員〉各回48名

**テーマ** 認知症対応セミナー(全2回) ※1回のみ参加でも結構です  
**日時** 第1回 2015年9月17日(木) 13:30~15:00  
 「認知症の初期の症状と対応」  
 第2回 2015年9月26日(土) 13:30~15:30  
 「認知症対応実践講座」  
**講師** 本学看護学部 教授 入江 拓、准教授 入江 晶子、  
 講師 神崎 江利子、助教 村松 美恵、  
 非常勤講師 大石 恵美子  
**対象** 認知症予防に関心のある一般市民の方  
**場所** 聖隷クリストファー大学

**職場におけるメンタルヘルスに関する講座** 〈定員〉100名

**テーマ** 労働人口激減社会で生じているメンタルヘルス問題の現状  
 ～あなたはこの環境で働き続けられますか?～  
**日時** 2015年10月17日(土) 時間未定  
**講師** 白石 みどり 氏(株式会社スノーム代表取締役、看護師)  
 本学リハビリテーション学部 教授 新宮 尚人  
**対象** メンタルヘルスの予防とリワーク支援という立場で  
 中小企業(人事担当など)を中心とした一般市民の方  
**場所** 未定

参加申込み ※申込み開始は講座開催日の約2ヶ月前からです。

●インターネットからの申込み

保健福祉実践開発研究センターホームページ → 公開セミナー・市民公開講座  
<http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/>  
 ※画面の案内に従って必要情報を入力後、送信してください。

●FAXからの申込み

FAX. 053-439-1406  
 氏名(フリガナ)・住所・電話番号・FAX番号・  
 職業(勤務先)・申込講座名をお知らせください。

**【公開セミナー】**

**リーダーシップに関する講座** 〈定員〉100名

**テーマ** 対人援助の現場で活かすリーダーシップを  
 磨こう  
 -コーチ型リーダーシップを身につけよう!  
**日時** 2015年6月20日(土) 13:30~16:30  
**講師** 生利 喜佐男 氏  
 (コミュニケーション・ホーム喜舎代表、  
 医療分野専門人材育成コンサルタント)  
**対象** 主に保健・医療・福祉の専門職の方  
**場所** 聖隷クリストファー大学

**発達障がいに関する講座** 〈定員〉100名

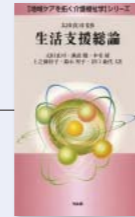
**テーマ** 発達障がい「専門職の勉強会」  
**日時** 2015年7月25日(土) 13:30~16:30  
**講師** 内山 敏 氏  
 (臨床心理士、小児発達学博士)  
**対象** 主に保健・医療・福祉の専門職の方  
**場所** 聖隷クリストファー大学

著書  
紹介

『生活支援総論』

光生館 2014年4月  
 監修: 太田貞司「地域ケアを拓く介護福祉学シリーズ」  
 共著: 太田貞司、諏訪徹、本名靖、上之園佳子、鈴木聖子、谷口敏代

著者: 社会福祉学部・大学院社会福祉学研究科 教授  
 おおた ていじ  
 太田 貞司



本書は、地域ケアを拓く介護福祉士の役割と機能を  
 示した大学生・大学院生向け介護福祉テキスト(全6  
 巻)の総論編。介護福祉実践の構造と根拠を説明した  
 第1部「介護福祉士による生活支援～介護福祉士の  
 役割、価値・知識・技術～」、若い頃に障害を受傷し、高  
 齢期を迎えた山田光生さんの一家が介護福祉士の支  
 援を受けながらどう暮らしてきたかを説明した第2部「事  
 例編(第1期:障害の受傷期、第2期:在宅生活の開始と  
 新たな活動、第3期:高齢者となって、第4期:認知症の人

の生活支援)」の2部構成。従来の養成テキストとは違  
 い、高齢者や障害者が地域のなかで暮らしていくうえ  
 の「地域型介護福祉士」の役割・機能を、事例で具体  
 的に学べる。また、介護職チームづくりや他職種との連携  
 ができる力を持つ介護福祉士のリーダーの役割が学べ  
 る。利用者が地域で自ら「日常生活を営む」ことへの支  
 援(生活支援)と言える介護福祉実践の理論と実践の  
 理解に役立つ。

学報へのご意見・ご感想をお寄せください

読者の皆様のご意見を参考に、より充実した内容をお届け  
 できればと考えております。ご協力お願い申し上げます。

学報アンケート  
 → <http://blg.seirei.ac.jp/d/>  
 携帯電話からもアクセスできます



# 学報



学報 Vol.45 2015年6月  
 SEIREI CHRISTOPHER UNIVERSITY REPORT

発行者 聖隷クリストファー大学 <http://www.seirei.ac.jp>  
 〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 TEL.053-439-1400 FAX.053-439-1406

聖隷クリストファー大学

CONTENTS

1 聖書のことは

2 特集 新入生セミナー

- 5 就職支援
- 7 クリストファーニュース  
国際交流レポート
- 9 聖隷学園だより
- 11 私の教育・研究
- 12 新任教員の紹介
- 13 後援会から
- 14 学友会から

裏表紙 公開講座のご案内 / 著書紹介





## 聖書のことば

あなたは、あなたの神、主の聖なる民である。あなたの神、主は地の面にいるすべての民の中からあなたを選び、御自分の宝の民とされた。

申命記 7章 6節

新入生を迎えた。彼らはキャンパス内を奔走するかのよう、大学生活の構築に励んでいる。その真摯な姿は、さわやかな新緑の中にあって更に初々しい。

創造主なる神は、人知を超えた御計画により彼らを選び、召し出し、神の先手としての使命をお委ねになられた。

医療福祉の業に仕えるという時、そこには人の存在が前提される。人は神に似せて創造され、神の息(霊)を吹き入れられ、活かされて生きる存在、と聖書にある。隣人に神の似姿を見る。そこには、人に仕え奉仕させて頂く者の心構えの原点を見出すことができる。

本学は「隣人愛」に拠って立っている。土の器にすぎない私共にとって、この「愛」は神の御子イエス・キリストの言と業にのみ範があることを知る。神の愛は心をすみずみまで思い巡らせる「恤み」でもある。

神慮への応答として学びの業が、神の祝福の下で益々豊かな実りを得られるようにと心から祈念する。

聖隷学園宗教主任 永井 英司



特集

# 新入生 セミナー

FRESHMAN  
SEMINAR 2015

毎年4月に新入生を迎えるにあたり、初年次教育の一環として「新入生セミナー」を開催しています。新入生・在学生や教員らとの交流を通して、新入生が大学生活に円滑に適應できるよう、有志の2~4年次生が企画・運営の中心となって準備をしています。

今回は3学部それぞれの2015年度「新入生セミナー」の様子をご紹介します。







4/16



各学部の新入生に、  
 セミナーの感想や将来の  
 希望などを聞きました。



## INTERVIEW 新入生インタビュー



みんなの応援に、  
 投げる球にも力が!!

### 看護学部

▶ 浜北総合体育館グリーンアリーナ



チームで力を合わせると  
 自然と笑顔に



勝利に  
 みんなで拍手!!



先輩も楽しんでいます

ひらの せいな  
**平野 聖奈さん**

看護学部看護学科  
 1年次生



**Q1. 新入生セミナーはいかがでしたか?**

先輩方や初めて話す同級生など、  
 たくさんの人と交流でき、とてもよい経  
 験になりました。イベントの種目も全て盛  
 り上がり、とても楽しかったです。

**Q2. 将来どのような専門職者になりたいですか?**

周りの方を笑顔にして、不安や悲しみを少しでも減らせることができるような  
 看護師になりたいです。まずは自分がいつも笑顔でいるようにしたいと思います。

**Q3. 学生生活の中で楽しみにしていることは何ですか?**

新しい友達ができ、今までになかった経験もたくさんできると思う  
 ので、それらを一つ一つ楽しみながら夢に向かって大学生活を過  
 ごしていきたいです。



教員も一緒にゲームを  
 楽しんでいます

### 社会福祉学部

▶ 大学第一体育館



勝利に  
 みんなで拍手!!



先輩も楽しんでいます

さかぐち のどか  
**坂口 和さん**

社会福祉学部社会福祉学科  
 1年次生



**Q1. 新入生セミナーはいかがでしたか?**

新入生セミナーのゲームの際に、他  
 の学科の同級生や先輩方と様々な会  
 話をし、とても楽しく充実した時間を  
 過ごすことができました。

**Q2. 将来どのような専門職者になりたいですか?**

困っている人を助け、笑顔にできるような社会福祉士になりたい  
 と考えています。

**Q3. 学生生活の中で楽しみにしていることは何ですか?**

サークル活動を楽しみにしています。サークル活動を通していろ  
 ろな方と関わりたいと考えています。また、聖灯祭ではサークルごと  
 に模擬店の出店や活動発表も行うそうなので、楽しみにしています。



学科ごとにチームを  
 組んで長縄跳び

### リハビリテーション学部

▶ 浜松アリーナ



教員や先輩の出し物は  
 驚きと拍手の連続!!



勝利に  
 みんなで拍手!!



先輩も楽しんでいます

みやざき りこ  
**宮崎 理子さん**

リハビリテーション学部作業療法学科  
 1年次生



**Q1. 新入生セミナーはいかがでしたか?**

学科の異なる友達や先輩方と一緒  
 になって楽しむことができよかったです。  
 いい思い出になりました。

**Q2. 将来どのような専門職者になりたいですか?**

患者さんの不安を察してそばに寄り添い、前向きな気持ちへ  
 導くことができるような作業療法士になりたいです。

**Q3. 学生生活の中で楽しみにしていることは何ですか?**

サークルに参加して多くの人とコミュニケーションをとり、人との  
 つながりを広げることです。





## 2014年度 卒業生・修了生の就職状況

(2015年3月末時点)

2014年度卒業生の就職率(※)は、100%です。看護学部は看護師が132名、保健師が10名、養護教諭が3名でした。進学は全員が本学の助産学専攻科です。社会福祉学科では、浜松市の精神保健福祉士をはじめ、5名が医療ソーシャルワーカー・精神保健福祉士として就職しました。こども教育福祉学科は、23名が幼稚園教諭・保育士になりました。

※「就職率」は、就職希望者に占める就職者の割合です。

学部学科	卒業生数	就職者数	進学者数	内定率	
看護学部	162名	146名	10名	100%	
助産学専攻科	17名	17名	0名	100%	
社会福祉学部	社会福祉学科	40名	36名	2名	100%
	介護福祉学科	23名	21名	0名	100%
	こども教育福祉学科	40名	40名	0名	100%
リハビリテーション学部	理学療法学科	34名	34名	0名	100%
	作業療法学科	30名	30名	0名	100%
	言語聴覚学科	16名	12名	0名	100%

## 2014年度 求人状況

本学に届いた求人数です。求人や採用試験に関する情報は、大学に届く場合と、病院・施設のホームページに掲載される場合があります。また説明会や見学会に参加した際に配布されることもあります。採用を検討している病院・施設の情報を随時チェックするように勧めています。

職種	求人数(全国)	静岡県 愛知県 東三河	職種	求人数(全国)	静岡県 愛知県 東三河
看護職	21,521名	1,655名	理学療法士	2,281名	295名
福祉職	3,839名	879名	作業療法士	2,389名	265名
幼稚園教諭・保育士	2,421名	513名	言語聴覚士	1,218名	165名

### 4年次生の就職活動

4年次生の就職活動が始まりました。すでに見学会・説明会や採用試験を実施している病院・施設もあります。履歴書の添削や模擬面接など、随時個別に対応しています。採用試験は希望職種、設置母体、規模などで日程や内容が異なります。他の学生の就職活動を見て、焦る必要はありませんので保護者の皆様には学生の就職活動を温かくお見守りいただければと思います。

## 各学部の就職委員(教員)から保護者の方へのメッセージ

### 看護学部



就職委員  
准教授

のぞき れいこ  
野崎 玲子

看護師や保健師・養護教諭になりたいという思いで入学してきて、いざ就職先を決めるとなると、漠然とした思いだけで、3年次生あるいは4年次生になっても、何を指しどのよう就職先を選択したらよいか悩む学生がいます。

就職活動においては、講義や実習での学びや経験、それを通して自己と向き合うことで成長していくことが重要です。具体的な就職支援プログラムとして、3年次生には「4年次生による就職活動報告会」や「卒業生との懇談会」を、4年次生には複数の病院(静岡県・愛知県東三河地区と聖隷グループの病院)の担当者をお招きした「合同説明会」を開催しています。また、インターンシップに参加して実

際に自分で就職先を確認することも勧めています。

説明会では、病院の概要や現状のほか、勉強会・研究会や研究活動が活発に行われているか、スキルアップ・キャリアアップに力を入れているか、またプリセプター制度(※)により丁寧な指導が受けられ相談しやすいシステムになっているか、さらにはワークライフバランスの視点から働きやすい環境であるか、などを知ることができます。また、個別相談にも応じてくださいます。

看護学部の就職担当の教員は2名ですが、就職センター職員や学生個々のアドバイザー教員、保健師に関しては公衆衛生看護学担当の教員、養護教諭に関しては養護教諭課程の教員と連携をとり就職に関する支援を行っていますので、積極的に相談に来ていただくと良いと思います。

※プリセプター制度=1人の新人看護師に対して1人の先輩看護師がつき、ある一定期間、マンツーマンで臨床実践を指導・教育していくシステム。

### 社会福祉学部



就職対策委員  
こども教育福祉学科 准教授

すずき まきこ  
鈴木 まき子

2014年度社会福祉学部の卒業生は、主に福祉・医療現場や一般企業、官公庁などに就職し、就職希望者就職率は100%でした。こども教育福祉学科でも、幼稚園、保育園、公務員、児童養護施設、障がい者施設などに100%就職しました。

4月には、学年毎に就職ガイダンスを開催し、学年に応じた就職指導をしました。特に3年次生には、『2015就職ガイドブック』を配布し、今後の就職活動について説明しました。今後、3年次生には「インターンシップ」、「卒業生による仕事報告会」、「4年次生による就職活動報告」、「公務員試験対策講座」などの支援プログラムを用意しています。4年次生には、メールで随時配信される求人情報、『2015就職ガイドブック』

の活用法、就職センターの情報の活用法などを伝えています。社会福祉学部では、人生の大きな岐路に立つ学生の迷いや悩みに寄り添い、学生の希望に添う支援活動を各学科の就職対策委員やゼミ担当の教員、そして就職センターの職員が常時行っています。学生自身が自己の特徴や良さを自己覚知し、自信をもって就職活動が推進されるように丁寧な支援を心掛けています。

今後も学生自身が希望する施設や企業に就職ができますよう、教職員一同一丸となって支援してまいります。ご家族のご意向も伺いながら進めてまいりますので、ぜひご忌憚の無いご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

また、2015年7月4日(土)には、社会福祉学部保護者懇談会があります。保護者の皆様と直接お目にかかり、学科・学年ごとに詳しい説明をさせていただきます。ぜひご参集くださいますようお願いいたします。



### リハビリテーション学部



就職委員  
言語聴覚学科 助教

なかむら てつや  
中村 哲也

リハビリテーション学部の学生の就職先は総合病院やリハビリテーションセンターなどの医療施設が多いですが、その他にも介護老人保健施設やデイケアセンターなどの保健施設、特別養護老人ホームや肢体不自由児施設といった福祉施設などにも就職しています。超高齢社会を迎えた今、リハビリテーションに対する需要拡大に伴って、さまざまな場で卒業生が活躍しています。

本学部のカリキュラムは、職業イメージを明確に持ち、大学の講義を意欲的に取り組むことが出来るように構成されています。1年次生から臨床現場に出向いて、さまざまな見学や体験をしてもらう機会を設けたり、実際に働いている先

輩を招いての講演会を開催したりしています。自ら目標とする職種を早くから体験したり、先輩の話を聞いたりすることで、学修理解や意欲を促すとともに、職業イメージを明確に持ち、将来の就職先を選ぶ上での参考にしてもらっています。また、3年次生になると長期の実習が始まります。学生は病院や保健施設、福祉施設といった様々な施設で長期間に渡って学び、体験することで、さらに就職先の希望を明確なものにしていきます。

学生が就職先を選ぶにあたっては、教員や就職センター職員が本人の希望をじっくりと聞いて就職の優先順位を整理していきます。さらに、施設の特徴や本人の特性とも合わせてアドバイスを行うことで、本人にとって最も良い施設に就職ができるよう支援しています。





### 2015年度入学式を行いました

4月2日、アクティビティ浜松中ホールにて、2015年度入学式を執り行いました。今年度は、看護学部161名、リハビリテーション学部108名、社会福祉学部85名、助産学専攻科17名、看護学研究科7名、リハビリテーション科学研究科10名、社会福祉学研究科5名の計393名の新生が入学しました(編入生を含む)。

入学生のことばでは、看護学部看護学科の河崎京香さんが「学びの中で相手を尊重する看護師として成長していきたい」と抱負を述べました。また、入学式の前後に保護者ガイダンスおよび後援会総会を行い、多くの保護者の皆様にご出席いただきました。



看護学部看護学科の新生  
河崎京香さんによる代表のことば

### 全学防災訓練を実施しました

近い将来発生することが懸念されている東海地方の大規模地震に備え、毎年4月に全学生・教職員対象の防災訓練を実施しています。

今年度は、80分の訓練のうち、前半は講義形式の防災オリエンテーションを行い、「地震発生時の避難方針や初期行動」をはじめ、「避難器具や消火器具の使用方法」、「安否情報システムANPICの操作方法」などについて確認を行いました。

後半は、震度6強の大地震が発生したとの想定のもと、避難行動のシミュレーションを行い、どの様に行動するかについて学びました。

また、本学で導入している安否情報システム「ANPIC」による安否報告訓練を行い、全学生より安否報告を受けました。全国各地で震度6弱以上の地震が発生した場合には、携帯端末に自動的に安否確認メールが届くよう設定されています。

※操作方法の詳細はキャンパスライフP41～P43に掲載しています。



防災オリエンテーションの様子

### 「ANPIC」ログイン画面

<https://anpic1.jecc.jp/seirei/login/>



### 「はままつフラワーパーク」との協業による 学生支援教育を実施しています

リハビリテーション学部 作業療法学科では、医療専門職者として、また一社会人としてふさわしい人材の育成のため、学生のボランティア活動をバックアップしています。その一環として、はままつフラワーパークにおける取り組みがあります。はままつフラワーパークでは、高齢者や障がい者への支援の一環として、園芸活動を通じた健康づくりに力を入れようとしています。

リハビリテーション学部 作業療法学科の教育プログラムには園芸療法があり、学生はそこで学修した医学的知識と経験を基に、はままつフラワーパークが取り組む、「障がい者や高齢者、子どもたちが楽しめる公園づくり」に貢献しています。



「はままつフラワーパーク」の職員との意見交換会

### 大場准教授が総理大臣官邸にて行われた 大臣表彰の授賞式に出席しました

2014年11月19日、総理大臣官邸にて社会福祉学部の大場義貴准教授が代表を務めるNPO法人「遠州精神保健福祉をすすめる市民の会」が内閣府特命担当大臣表彰を受けました。

大場准教授は1997年の設立から、20年近くに渡り精神障がいや疾患についての正しい理解、支援の輪を地域に広げていく活動を行



中段の右から3人目が大場准教授

っており、現在では広く市民や地域企業にもネットワークを構築し、全国の先進事例として高い評価を得ています。今回は、これまでの幅広い活動が認められたの受賞となりました。

出典：内閣府ホームページ

<http://www8.cao.go.jp/youth/ikusei/support/h26/index.html>

■平成26年度「子どもと家族・若者応援団表彰」表彰式

[http://www.kantei.go.jp/jp/96\\_abe/actions/201411/19kodomo\\_kazoku\\_hyoushou.html](http://www.kantei.go.jp/jp/96_abe/actions/201411/19kodomo_kazoku_hyoushou.html)

■浜松市精神保健福祉センターへ報告

<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/sei-hokenc/tayori/news.html>

■市長報告会

<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/sei-hokenc/tayori/news3.html>

### → 国際交流レポート

#### 2014年度アメリカ看護研修を実施しました

3月18日～28日、本学の交流協定締結校であるサミュエルメリット大学(カリフォルニア州オークランド)にて看護研修を実施しました。本研修には看護学部2年次生(研修参加時)4名が参加し、同大学にある最先端のシミュレーションセンターでの演習のほか、講義の受講、地域病院や高齢者施設などの見学を通して看護先進国であるアメリカの看護や福祉事情について学びました。



修了証授与式後の様子

#### → 研修参加者の声

##### ■松浦 みらいさん(3年次生)

アメリカの病院や施設見学、演習への参加など、どれもが驚きの連続で、本当に勉強になることばかりでした。単語だけでも向こうの方達は意味を汲み取ってくださり会話ができました。とても充実した研修でした。

##### ■渡辺 倫子さん(3年次生)

アメリカ看護研修に参加して、日本とアメリカの良いところを実際に見て学ぶことができ看護の視野が広がりました。看護を学ぶ上でも、英語を学び異文化を理解する上でも今後の糧となると良い体験になりました。

##### ■渡邊 知美さん(3年次生)

アメリカの学生の看護を学ぶ志の高さや積極さに、同じ看護師を目指す立場として圧倒され、自分の勉強意欲も高まりました。研修を通してたくさん刺激を受け、自分を成長させることができとても良い経験になりました。

##### ■藤原 亨美さん(3年次生)

今回アメリカ看護研修に参加して、日本とアメリカの看護の違いだけではなく文化や習慣の違いも学ぶことが出来ました。1日1日が驚きと発見の連続であつという間の10日間でした。国際的な看護の視野が広がりました。

## Campus Schedule

### キャンパススケジュール

- 4月
  - 2 木 ・入学式
  - 3 金 ・新入生オリエンテーション・在学ガイダンス(4日まで)・防災訓練
  - 6 月 ・春semester授業開始
  - 11 土 ・大学院オリエンテーション・ガイダンス
  - 16 木 ・看護学部・社会福祉学部・リハビリテーション学部新入生セミナー
  - 29 水 ・授業日(昭和の日)
- 5月
  - 1 金 ・創立記念日
  - 6 水 ・振替休日(憲法記念日)
- 7月
  - 4 土 ・**社会福祉学部 保護者懇談会**
  - 20 月 ・授業日(海の日)
  - 24 金 ・春semester授業終了
  - 27 月 ・春semester定期試験(7月31日まで)
- 8月
  - 27 木 ・春semester追・再試験(8月31日まで)
- 9月
  - 18 金 ・春semester卒業式・修了式
  - 25 金 ・秋semester授業開始  
※秋semesterガイダンスは必要事項のみ時間割の中で行います。
- 10月
  - 10 土 ・**リハビリテーション学部 保護者懇談会**
  - 12 月 ・授業日(体育の日)
  - 24 土 ・**看護学部 保護者懇談会**
- 11月
  - 3 火 ・授業日(文化の日)
  - 6 金 ・1～3限は授業、4限以後聖灯祭等準備
  - 7 土 ・聖灯祭・ホームカミングデー
  - 23 月 ・授業日(勤労感謝の日)
- 12月
  - 16 水 ・クリスマス礼拝
  - 23 水 ・冬期休業(1月5日まで)
- 1月
  - 25 月 ・秋semester授業終了
  - 26 火 ・秋semester定期試験(2月1日まで)
- 2月
  - 23 火 ・秋semester追・再試験(2月25日まで)
- 3月
  - 8 火 ・卒業式・修了式、卒業パーティ



## 聖隷クリストファー中・高等学校

### 学校農場と労作教育

—農場体験実践活動…命を持って命を育てます。—

私たちの心の土と畑の土を、丁寧に耕す中で人間的成長を図ります。本校



では農場が用意され、農場労作が大きく展開されています。一人ひとりが一坪程度の農地を与えられ、年間を通じて耕作に取り組んでいます。その農地を自分で管理していく中で責任感も身につけていきます。作業は、整地、畝作り、施肥、種蒔き、苗植、マルチング、除草、水遣り、追肥、収穫など様々です。栽培する作物の選定は生徒に任せられます。雨天時には、鎌研ぎなどの道具の手入れや作業

の準備を行います。時には、家族で農場を訪れ、共に作業を行うことにより親子・家族の絆を深める微笑ましい光景もみられます。

また、農場の一角にある「こども園農場」では、夏季のサツマイモのつる植えや除草、秋の大根の栽培などの中で生徒と園児たちと触れ合いの場もたれています。また、折に触れて園児が農場を訪れ季節の草花を楽しむ場ともなっています。

### 聖隷プロジェクトとは

聖隷プロジェクトとは、看護・福祉・リハビリテーションに興味のある高校生に対して、早い段階から各専門分野に関するイメージを具体化し、将来の進路選択の一助とすることを目的として始まった聖隷クリストファー高・大連携プログラムのことです。今年でこのプロジェクトも10年目を迎え、今年度は1年生81名、2年生54名が登録しています。

年間6回、大学の先生方による講義を受講します。1年生向けの講義では各

分野の概論、2年生向けの講義では、より専門性の高い内容を扱います。夏休みには希望者を対象に看護体験、夏休み明けには、主に卒業生で医療や福祉の現場で働いている方の話を聞きます。年度末には、1年間の学習を通して学んだことをまとめ、発表するグループワークを行い大学の先生方による講評をいただきます。こうした学習を通じて、看護師等のそれぞれの仕事内容はもちろん、医療や福祉の現場に就くことの責

任の重さや他人を思いやることの大切さを学びます。



### 法人事務局より

#### 大学と一体になった介護福祉士養成

## 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校



介護を選ぶ私。

聖隷学園では、2016年4月に、介護福祉士養成のための「聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校」の開校を予定しています。

超高齢社会において、介護の質を向上させ「豊かな高齢期」を実現するためには、介護職員のリーダーの養成とともに、職員数の量的な確保が必要とされています。こうした社会的ニーズに応え、2年間で介護福祉士を養成して世の中に送り出していきます。

2016年  
(平成28年)  
4月開校  
(予定)

オープンキャンパス 7/4(土) 14:00~16:00 8/1(土) 13:00~16:00 8/22(土) 13:00~16:00

## 聖隷クリストファー大学附属 クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 総園長 おおた まさこ  
聖隷クリストファー大学 社会福祉学部こども教育福祉学科長・教授 太田 雅子

### 新入園児のお世話「ひつじ組お当番」



新入園児のお世話をする「ひつじ組お当番」が5歳児クラス・らいおん組で始まりました。入園式の前日、明日から新し

いお友だちがこども園に来ることを伝えると、自分たちも入園したての頃には不安なことがいっぱい泣いていたなどの返答がありました。そこから、ひつじ組を助けることをしよう、部屋まで連れていったり着替えを手伝おうとの声が上がりました。そして腕にひつじの絵のついたバッジをつけて出勤開始。玄関で出迎えて部屋までエスコートしたり、上着のボタンを外すことに力を貸したり、お兄さん・お姉さんらしさを発揮していました。自分の保育室に

戻って来るなり「かわいかった」「ありがたうって言われた」などと喜びを表現していました。でも本音のところは自分の部屋で友だちと遊びたい気持ちがあり、葛藤しながらの「隣人愛」の実践でした。



### 里山体験活動「初めまして森体験」



こども園では5歳児クラスになると、年間を通して実施される里山体験プログラム(みやこだ自然学校)に参加します。園日

標の一つである「自然の中で思い切り遊び、感性やたくましい心と体を育む」ことをねらいとして、里山や森の中で一日を過ごします。今年度の第1回目は4月21日(Aグループ)と22日(Bグループ)に出掛けました。久しぶりの晴天で、さわやかな風が吹き、鳥の音や木々の香りに心が解放される感じがしました。「うぐいすが鳴っていたよ。」と教えてくれる子どももいました。森の中に設置されたツリーハウス、ブランコ、丸太橋にも勇気を出して

チャレンジする姿が見られました。また枝を集めて基地を作り冒険ごっこに夢中になっていました。



#### 設置する専門学校の概要

◆目指す専門学校の姿／介護福祉の知識・技術・価値・理念と、隣人愛の精神が統合された人間教育を行い、自分のことのように他者を考え「愛の実践」ができる介護福祉士を養成します。

◆定員／総定員80名(1学年40名、修業年限2年)

- | 特徴             | 内容  |
|----------------|---|
| 1) 大学レベルの教育    | 大学と同じキャンパス内に開校し、大学の充実した学習環境を共用。専門学校の教員と共に大学・大学院の教員による授業。                    |
| 2) 多様な進路       | さらに学びを深めたい学生には、大学編入学、その後の大学院への進学と将来の学びが開かれています。                             |
| 3) 充実した経済的サポート | 静岡県内の介護福祉専門学校の中で最も安い学費を設定予定。多くの生徒が介護福祉士を目指すことができる奨学金制度。                     |
| 4) 豊富な就職先      | 聖隷学園で学んだ卒業生が、聖隷グループをはじめとした福祉施設において介護実践に携わっていることから、将来像を描き、安心して就職を目指すことができます。 |

専門学校の詳細は… 専門学校ホームページ(<http://www.seirei.ac.jp/carework>)をご覧ください。法人事務局 企画部(TEL:053-436-5311)までお気軽にお問い合わせください。



## 障害を起こす疾病の発症・再発予防を 考えられる理学療法士の養成

リハビリテーション学部 教授 <sup>やぐら ちあき</sup> 矢倉 千昭

- 学歴：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(医学博士)
- 主な所属学会：日本理学療法士協会、日本体力医学会、日本運動生理学会、日本ヘルスプロモーション理学療法学会



### Q1 先生の学びのきっかけと 専門分野について教えてください。

私が高校生のとき、叔父から長崎大学に理学療法士を養成する短大ができることを聞き、「そのような資格があるのか…」と漠然と思っていました。その頃は、生物工学系の研究者になりたいと考えていて、その分野の大学進学を希望していましたが、一浪して受験に失敗、叔父の話を思い出して受験、入学したのが長崎大学医療技術短期大学部理学療法学科でした。

卒業後、長崎県の離島の病院に勤め、恩師の紹介で島根県のリハビリテーション専門学校に移りました。そこで出会ったのが、非常勤講師であった島根医科大学名誉教授の前野 颯先生、島根大学医学部の塩飽邦憲先生、木原 勇夫先生でした。前野先生から実験研究について教えていただき、塩飽先生とは生活習慣病予防のフィールド研究、木原先生とはスポーツ関係の研究で関わらせていただきました。このような島根県での活動が、私の専門分野である『予防理学療法学』の出発点となりました。



矢倉教授による大学院生への指導の様子

### Q2 大学院では どのような学びができますか？

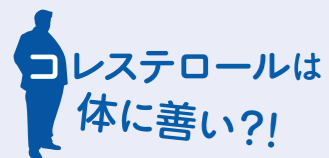
リハビリテーション科学研究科では、保健医療福祉の分野で、国内はもとより、広く国際舞台の第一線で活躍できる高度専門職業人ならびに教育者・研究者の育成をめざしています。最近では、国際学会で発表、英語の学術雑誌に投稿する大学院生や修士生も増え、また大学の教員になった修士生もでてきました。

当研究科の大学院生たちは、領域に関係なく、お互いに協力し合い、主体的に考えて行動し、自己研鑽に励んでいます。研究の計画、準備、実施には周りの人たちの協力、支援が必要不可欠です。研究には知識や技術も必要ですが、大切なのは『人間力』だと思います。当研究科は、人間力が豊かな人材が育ちやすい環境であると思います。

### Q3 現在取り組まれている研究や 活動について教えてください。

これまでは、動脈硬化症や生活習慣病の予防、スポーツ障害の発症予防に関する研究を行ってきました。現在、私の研究室では、高齢者の栄養状態と運動機能、高齢者や認知症の睡眠障害、脳卒中片麻痺の下肢運動機能について検討しています。特に、睡眠障害は、非常に身近な問題であり、生活習慣病、動脈硬化関連疾患の発症、高齢者の認知症や転倒・骨折などリハビリテーションとの関係が深いことが知られています。認知症高齢者の睡眠障害は周辺症状の増悪と関与しており、周辺症状に伴うADL(日常生活活動)の低下を予防する上で重要な課題となっています。認知症の症状は多様であるため研究デザインを組むのが難しいですが、地道に研究を進めたいと考えています。

#### 研究マメ知識



**コレステロールは体に悪い?!**  
心筋梗塞のリスク因子として有名な悪玉コレステロールのLDLコレステロールを減らすためには食事と運動が有効ですが、善玉コレステロールのHDLコレステロールを増やすためには食事では改善せず、有酸素運動が有効とされています。先行研究や我々の研究によると、HDLコレステロールを増やすためには万歩計で1日1万歩を目安に運動をするというようです。

## 新任教員の紹介

- ①出身校 ②前任校・勤務先
- ③専門分野 ④メッセージ



### 看護学部(成人看護学)

<sup>もり かずえ</sup> 森 一恵 教授

①大阪府立看護大学大学院博士後期課程②愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻③成人看護学④看護の仕事は患者・家族の皆様から人間として学び育てていただく仕事です。学生の皆さんと一緒に成長できるよう、ともに学んでいきましょう。



### 看護学部(基礎看護学)

<sup>にいみ ゆかり</sup> 新實 夕香理 准教授

①富山医科薬科大学医学系研究科修士課程②藤田保健衛生大学医療科学部③基礎看護学④様々なご縁が重なり、再び戻ってきました。学部時代の友は一生の宝です。多くの仲間を作ってください。



### 看護学部 教養基礎科目(スポーツ)

<sup>やすだ ともひろ</sup> 安田 智洋 准教授

①東京都立大学大学院理学研究科身体運動科学専攻修士課程②東京大学大学院医学系研究科③運動生理学・応用健康科学④保健・医療・福祉・介護とスポーツ・健康科学の架け橋をしたいと思います。皆さんから多くの刺激を受けながら、現場での実感を大切に教育・研究をしていきたいと思っています。



### 社会福祉学部・社会福祉学研究科

<sup>おおとも のぶかつ</sup> 大友 信勝 教授

①東洋大学大学院社会学研究科博士課程②中部学院大学人間福祉学部③社会福祉学④「建学の精神」を学び、研究・教育に努め、これからの時代を担う人材育成に取り組みたいと考えています。



### 社会福祉学部・社会福祉学研究科

<sup>そめや よしこ</sup> 染谷 倭子 教授

①Ph.D. in Social Work and Social Research, Bryn Mawr College, USA.②東京女子大学現代教養学部および大学院人間科学研究科③老年社会学、家族研究、社会福祉④社会変動と家族の変化に伴う高齢者の暮らしの実態を検証し、国境を越えて、高齢者の自立支援の方法を考察していきたいと考えています。



### リハビリテーション学部 理学療法学科(情報処理等)

<sup>つもり しんいち</sup> 津森 伸一 教授

①信州大学大学院総合工学系研究科博士課程単位取得満期退学②近畿大学九州短期大学③教育学④一般教養を担当しますが、単なる教養で終わるのではなく、専門分野の学習にうまく連結するような教育を目指します。共に頑張りましょう!



### リハビリテーション学部 理学療法学科

<sup>さかもと あすか</sup> 坂本 飛鳥 助教

①Master of Health Science Health Evaluation and Research, La Trobe University, Australia.②山口つ整形外科クリニック③運動器系理学療法学科④学生の皆さんの夢や希望を応援するドリームサポーターとして、また、共に学び実践していく同士として皆さんと関わっていきたく思います。よろしくお願ひします。



### リハビリテーション学部 言語聴覚学科

<sup>しばもと いさむ</sup> 柴本 勇 教授

①東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程②国際医療福祉大学・大学院③摂食嚥下障害学④聖隷福祉事業団職員の時に得た知識や経験を、今度は本学学生の皆さんや地域の皆さんと共有していきたいと思っています。



### リハビリテーション学部 言語聴覚学科

<sup>さとう じゅんこ</sup> 佐藤 順子 教授

①大阪教育大学特殊教育特別専攻科言語障害教育専攻②聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部言語聴覚学科③高次脳機能障害学④主体的な学修が身につくような教育を心がけ、臨床で培った経験を皆さんにお伝えしたいと思います。



### リハビリテーション学部 言語聴覚学科

<sup>たに てつお</sup> 谷 哲夫 准教授

①群馬大学大学院医学系研究科博士後期課程②医療法人社団日高会日高病院③失語症学、吃音学④病院の言語聴覚士として長年臨床に携わってきました。これまでの経験から得た多くのことを学生に伝えていくことが私の任務だと思っています。



### リハビリテーション学部 言語聴覚学科

<sup>おほのら しげひろ</sup> 大原 重洋 准教授

①日本福祉大学大学院社会福祉学研究科福祉マネジメント専攻修士課程②豊田市こども発達センター難聴幼児通園施設なのはな③小児聴覚障害学④これまで聴覚障害乳幼児の補聴と言語支援に携わってきました。臨床の経験から得た知見を学生の皆さんと共有して、一緒に新しい知を作りたいと考えています。



### リハビリテーション学部 言語聴覚学科

<sup>さとう あつひろ</sup> 佐藤 豊展 助教

①東北大学大学院医学研究科肢体不自由学分野博士前期課程②東北大学病院③摂食嚥下障害学、高次脳機能障害学、失語症学④学生の興味・関心を引き出し、探究心が持てるような教育・研究指導を行っていきたく思います。よろしくお願ひします。



### リハビリテーション学部 言語聴覚学科

<sup>きはら ひとみ</sup> 木原 ひとみ 助教

①上智大学大学院外国語研究科言語専攻言語聴覚研究コース博士前期課程②日野市教育・発達支援センター、赤十字子供の家③言語発達障害学④小児の臨床経験を生かし、言語聴覚療法を学ぶ楽しさ、専門知識と他者を思いやる心を伝えたいです。



## 後援会から

4月2日に2015年度後援会総会が開催され、下記のとおり2014年度決算および2015年度予算が承認されました。2015年度は、下記の3点について重点的に予算を編成しました。①第3駐車場(学生用)までの経路の防犯対策を実施します。②学生食堂における券売機のバリアフリー化を図ります。③キャンパス周辺の防犯灯の設置を継続して実施します。

科目	項目	2014年度決算	2015年度予算
収入の部 (単位:円)			
入会金・会費	入会金	3,637,500	3,487,500
	会費	28,199,895	28,100,000
利息	預金利息	5,055	20,000
前年度繰越金		5,196,570	5,723,501
収入の部合計		37,039,020	37,331,001
支出の部 (単位:円)			
教育活動 振興援助費	新入生セミナー援助	1,250,914	1,347,700
	実習交通費宿泊費等の補助(看護学部)	1,499,974	800,000
	実習宿泊費補助(リハビリテーション学部)	1,600,000	1,600,000
	学外学会等参加費補助(助産学専攻科)	79,985	80,000
	国家試験対策講座等に係る費用の補助	3,072,385	4,230,000
福利厚生費	学生相談室の運営に係る費用の補助	4,322,891	4,400,000
	健康診断に係る費用の補助	4,068,890	4,170,000
	健康管理センターの充実補助	127,746	200,000
	学生の自主活動に係る費用の補助	1,717,500	1,860,000
	学生食堂運営費、売店運営費の補助	3,897,389	5,750,000
	防犯・交通安全の啓発に係る費用の補助	170,000	170,000
	卒業記念品贈呈および卒業パーティ開催費	3,205,794	3,180,000
	学生用コピー機、印刷機費用の補助	967,561	1,300,000
会員情報 提供費	大学報印刷費、発送費	1,167,666	1,500,000
	保護者懇談会の開催	669,135	750,000
施設設備費	学生福利厚生設備の充実費用	1,300,860	1,400,000
	学生駐車場防犯カメラリース料、大学周辺の防犯灯維持費 キャンパス内整備(学生ホール等)、備品の購入経費	207,574 936,010	250,000 200,000
総務費	慶弔費	0	50,000
	保護者満足度調査経費(郵送費)	263,112	350,000
	会費納付書等印刷費、郵送費	40,213	60,000
役員会		20,720	50,000
予備費		0	3,233,301
次年度繰越金		5,723,501	0
支出の部合計		37,039,020	37,331,001

### 2015年度 後援会役員

会長 相原正浩  
 副会長 大谷雅弘、小木留美、  
 渡辺泰宏(大学学生部長)  
 理事 柏原栄作、増井悦子、小尾 誠、  
 釘持 尚、小出紀久一、青木 慶、  
 高松克式、池田しげみ、宮崎純夫  
 幹事 中村憲司(大学総務部長)、  
 川野淳弘(大学学生サービスセンター長)  
 会計監査 芦澤信之、藪谷 淳

### 2014年度の重点課題について【報告】

2014年度は特に、下記3点を重点課題に挙げ対応しました。

#### ①食堂・学生ラウンジの設備等の充実と学生へのサービスの更なる向上

→学生ホールにカウンターテーブルを設置し一人席を充実させました。また、ベルトパーテーションを購入し、混雑時にも効率よくランチの受取ができるようになりました。

#### ②第3駐車場(学生用/新規)内の防犯対策の実施

→第3駐車場内に、防犯カメラ及び防犯カメラ表示看板を設置しました。

#### ③キャンパス周辺の防犯灯の設置を継続実施

→第3駐車場までの経路への防犯灯設置の代わりとして、学生専用となった第1駐車場に防犯カメラを4台設置しました。第3駐車場までの経路への防犯灯は、2015年4月に周辺自治体の協力のもと設置されました。

### 後援会会長 就任挨拶

あいほう まさひろ  
相原 正浩

今回、大学後援会会長に選出されました相原正浩です。保護者の皆様や大学の先生方の助けをいただきながら本会を推進していきたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。4月の入学式では、新入生の皆さんの顔を拝見し、希望に向かって未来を見つめている姿を見て、とても頼もしく感じました。また、男子学生も数多くみられ、キャンパス内がより活気づくことでありましょう。

さて、大学後援会は、学生の保護者等を会員として組織されており、本学学生をサポートする会です。昨年度の重点事業としては、食堂・学生ラウンジの設備の充実、第1および第3駐車場内への防犯カメラの設置等を実施しました。学生全員が、国家試験等に合格して卒業できるように大学生生活をサポートしてまいりますので、ご理解・ご協力の程よろしく願いいたします。

## 保護者の皆様へお知らせ

### 「2014年度保護者満足度調査結果報告書」を本誌に同封してお送りいたしました

2014年度保護者満足度調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。お寄せいただきました多くのご質問・ご要望に対し、すべてではございませんが本学からの回答を掲載しております。ぜひご一読いただけますようお願いいたします。また、在学生を対象に実施した「在学生満足度調査」につきましても、在学生より寄せられた多くの意見等に対し分析、改善策を検討いたしました。在学生に向けましては6月より学内において回答を掲示しております。今後もよりよい教育を目指して取り組んでまいりますので引き続き、ご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 2015年度保護者懇談会開催のお知らせ

2015年度保護者懇談会を右記の日程で開催いたします。保護者懇談会は、保護者の皆様に大学にお越しいただき、教育環境の現状等についてお話を聞いていただくほか、お子さんの学業や学習生活、就職、健康面等について教職員と直接お話いただけるプログラムとなっています。詳細が決定次第、ご案内状をお送りいたしますのでこの機会にぜひご来学いただければ幸いです。

学部	日程
社会福祉学部	7/ 4(土)
リハビリテーション学部	10/10(土)
看護学部	10/24(土)

## 学友会から

SEIREI CHRISTOPHER UNIVERSITY  
GAKUYUKAI



2015年度学友会役員(右から3人目が会長の補永さん)

### 学友会会長 補永 晴香(社会福祉学部2年次生)

今年度の学友会会長に就任いたしました、補永晴香と申します。学友会では学生の皆さんが充実したよりよい学生生活を送ることができるよう、主に新入生歓迎会やクリスマス祝会などの行事運営、サークルの運営や広報活動などといった活動を行っています。

今年度はよりよい学生生活の実現化のために総会、行事においては学友会でそれぞれ話し合い、学生への事前アンケートの実施、行事の運営を行い、3学部の交流を深めていけたらと思います。

私たち学友会のみならず大学全体で「聖隷クリストファー大学」をよりよいものにしていけたらと思います。

そのために皆様のご理解とご協力が必要です。学友会一同今年度も一丸となって精一杯頑張りますので、よろしく願いいたします。

## 2015年度 学友会関連行事

4月 4日(土)	新入生歓迎会
6月 3日(水)	定例総会
9月18日(金)	9月卒業式(記念品)
10月17日(土)	球技大会
11月 7日(土)	聖灯祭
12月16日(水)	クリスマス祝会
3月 8日(火)	卒業式(記念品) 卒業パーティ (大学・学友会・後援会・同窓会共催)

### 2015年度 学友会役員(任期2016年3月31日まで)

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	補永 晴香	社福2	サークル	高橋 美紀	リハ2
副会長	山本 百合香	看護2	サークル	矢倉 香澄	看護2
会計長	山下 詩織	看護2	サークル	横山 みずず	リハ2
会計	川口 絢未	リハ2	広報	青葉 言	リハ2
会計	長谷 和也	リハ2	広報	高塚 麻莉子	リハ2
会計	山下 真緒	リハ2	主務	北澤 和寿	社福2
サークル長	彦坂 紗由実	リハ2	監査	向井 朝香	看護2

※所属の欄の「2」は学年、「看護」は看護学部、「社福」は社会福祉学部、「リハ」はリハビリテーション学部

## 学生数

総数1,513名/男351名/女1,162名

2015年5月1日現在 ※( )内は男子内数

看護学部	看護学科	1年次生	160( 22)	
		2年次生	154( 16)	
		3年次生	151( 14)	
		4年次生	166( 18)	
		計	631( 70)	
助産学専攻科		計	17( 0)	
社会福祉学部	社会福祉学科	1年次生	31( 11)	
		2年次生	39( 14)	
		3年次生	37( 17)	
		4年次生	44( 12)	
	介護福祉学科	1年次生	12( 3)	
		2年次生	17( 11)	
		3年次生	14( 3)	
		4年次生	13( 6)	
	こども教育福祉学科	1年次生	39( 4)	
		2年次生	48( 1)	
		3年次生	47( 11)	
		4年次生	35( 6)	
		計	376( 99)	
リハビリテーション学部	理学療法学科	1年次生	39( 18)	
		2年次生	42( 20)	
		3年次生	33( 15)	
		4年次生	39( 21)	
	作業療法学科	1年次生	35( 10)	
		2年次生	37( 16)	
		3年次生	35( 10)	
		4年次生	34( 10)	
	言語聴覚学科	1年次生	34( 7)	
		2年次生	19( 5)	
		3年次生	23( 3)	
		4年次生	32( 11)	
		計	402(146)	
看護学研究科	博士前期課程	1年次生	3( 1)	
		2年次生	7( 0)	
	博士後期課程	1年次生	4( 0)	
		2年次生	5( 0)	
		3年次生	23( 1)	
		計	42( 2)	
社会福祉学研究科	博士前期課程	1年次生	3( 2)	
		2年次生	5( 3)	
	博士後期課程	1年次生	2( 2)	
		2年次生	4( 3)	
			3年次生	2( 0)
			計	16( 10)
理学研究科	博士前期課程	1年次生	8( 6)	
		2年次生	12( 9)	
	博士後期課程	1年次生	2( 2)	
		2年次生	2( 2)	
			3年次生	5( 5)
		計	29( 24)	

## 2015年度 新たに就任した役職者

社会福祉学部

社会福祉学科長 佐藤順子 教授

リハビリテーション学部

言語聴覚学科長(学部長兼任) 大城昌平 教授